答はすべて解答用紙に記入せよ。

1　次の各文章について，①～⑩にあてはまる語句や数字を，それぞれ下のア～ウから選び，記号で答えよ。

1　学校環境衛生基準（令和４年４月）における教室等の温度は，（　①　）であることが望ましい。
ア　17℃以上，28℃以下　　イ　18℃以上，28℃以下　　ウ　18℃以上，30℃以下

2　学校保健安全法第７条において，「学校には，健康診断，健康相談，保健指導，（　②　）その他の保健に関する措置を行うため，保健室を設けるものとする。」と定められている。
ア　救急処置　　イ　感染症予防　　ウ　疾病予防

3　学校環境衛生の維持を図るため，毎授業日に行う換気の状況や温度などの点検の結果は記録するよう努めるとともに，その記録を点検日から（　③　）年間保存するよう努めるものとする。
ア　1　　イ　3　　ウ　5

4　蜂窩織炎（ほうかしきえん）は，皮膚及び皮下組織の急性（　④　）感染である。
ア　ウイルス　　イ　真菌　　ウ　細菌

5　それまでひとつの物事に没頭していた人が，心身の極度の疲労により意欲を失い，社会に適応できなくなることを（　⑤　）シンドロームという。
ア　ブレークスルー　　イ　バーンアウト　　ウ　アウトブレイク

6　医薬品を用法・用量を守らずに過量に摂取する（　⑥　）は，健康被害を引き起こしたり，やめられなくなったりするおそれがある。
ア　オーバーユース　　イ　ゲートウェイドラッグ　　ウ　オーバードーズ

7　耐熱性芽胞を形成する（　⑦　）による食中毒は，カレー等の煮込み料理を大量に加熱調理した後，そのまま室温で放冷されていた場合に多くみられる。
ア　ノロウイルス　　イ　ウエルシュ菌　　ウ　カンピロバクター

8　（　⑧　）の法則は，「同じ人間が起こした330件の災害のうち，１件は重い災害があったとすると，29回の軽傷，傷害のない事故を300回起こしている。」というものである。
ア　バード　　イ　ブロッカー　　ウ　ハインリッヒ

9　公益財団法人がん研究振興財団の「がんの統計2023」によると，2021年のがん死亡数の部位別の順位では，男性は肺，女性は（　⑨　）が最も多かった。
ア　大腸　　イ　胃　　ウ　乳房

10　心肺蘇生法は効果的な手順が定められており，まず周囲の安全を確認し，次に，傷病者の反応を確認する。「反応なし」と判断し，助けを呼んでも誰も来ない場合は，自ら（　⑩　）ことが望ましい。
ア　119番通報を行う　　イ　ＡＥＤを探しに行く　　ウ　援助者を探しに行く

2　次の各問に答えよ。

問１　次の文章は，「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂（公益財団法人日本学校保健会）」に示されている視力検査の実際について述べたものである。正しいものには○を，誤っているものには×を記入せよ。

(1)　視標面の照度は500～1,000ルクスとする。

(2)　検査場所は，あまり狭くない部屋でカーテンを使用し，直射日光が入らないように注意する。

(3)　並列（字づまり）視力表の場合は，0.7の視標ができるだけ目の高さになるよう配慮する。

(4)　視力の判定において「正しく判別」とは，検査者が示した３方向のうち２方向以上の視標を正答した場合をいう。

(5)　視力表（視標）は，原則５ｍ用を使用する。ただし，十分な距離が取れない場合は３ｍ用でもよい。

答はすべて解答用紙に記入せよ。

問2　次の条文は，学校保健安全法施行規則第９条の一部抜粋である。①～⑫にあてはまる適切な語句や数字を答えよ。

（事後措置）

第９条　学校においては，法第13条第１項の健康診断を行つたときは，（　①　）日以内にその結果を幼児，児童又は生徒にあつては当該幼児，児童又は生徒及びその保護者（学校教育法第16条に規定する保護者をいう。）に，学生にあつては当該学生に通知するとともに，次の各号に定める基準により，法第14条の措置をとらなければならない。

一　疾病の（　②　）を行うこと。

二　必要な（　③　）を受けるよう指示すること。

三　必要な（　④　），予防接種等を受けるよう指示すること。

四　（　⑤　）のため必要な期間学校において学習しないよう指導すること。

五　特別支援学級への（　⑥　）について指導及び助言を行うこと。

六　学習又は（　⑦　）・作業の（　⑧　），停止，変更等を行うこと。

七　修学旅行，対外運動競技等への参加を（　⑨　）すること。

八　机又は腰掛の調整，（　⑩　）の変更及び学級の編制の適正を図ること。

九　その他（　⑪　），健康状態等に応じて適当な（　⑫　）を行うこと。

3　次の事例について，各問に答えよ。

高校２年生の生徒Ａは，クラスマッチでバスケットボールの試合に出場中，相手のボールを止めようと左手を出した際，左手小指にボールが強く当たった。

保健室で養護教諭が負傷部位を確認したところ，左手小指第二関節周辺の痛みと腫れ，手のひら側に内出血が見られた。生徒Ａは，アイシングや圧迫固定の応急処置を受けている途中で，冷汗をかきはじめ顔面蒼白となり，吐き気を訴えたため，養護教諭は負傷部位のアイシングを続けながら休ませた。しばらくして吐き気は治まり，冷汗も止まった。

問1　右の図１の①～④の骨の名称を答えよ。

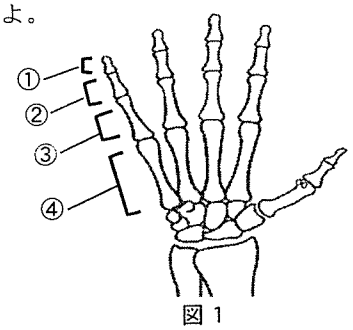


図１

問2　下線部の状況において，症状の悪化を予防するためにはどのような体位をとらせたらよいか。下のア～エから最も適切なものを一つ選び，記号で答えよ。

ア　仰臥位　　イ　側臥位　　ウ　座位　　エ　半座位

問3　下線部のように，痛みや緊張などの精神的ストレスを感じた時などに，血圧の低下や脈拍の減少などが生じ，一時的に意識を失うこともある反射を何というか答えよ。

問4　生徒Ａについて，養護教諭は医療機関を受診すべきと判断し，学級担任から保護者へ連絡をしてもらうことにした。学級担任を通して，保護者へ連絡すべき内容や確認事項を三つ答えよ。

答はすべて解答用紙に記入せよ。

4 次の各問に答えよ。

問1　次の文章は，感染症の症状や特性について述べたものである。あてはまる感染症名を，下の語群ア～クから選び，記号で答えよ。

(1)　主として咽頭，口腔内粘膜に水疱，潰瘍を形成するのが特徴の熱性疾患で，夏かぜの代表的な疾患である。

(2)　主に乳児で重症化し，肺炎等を合併して呼吸困難に陥ることもある呼吸器感染症であり，乳幼児の突然死の原因の一部であることが明らかになっている。

(3)　病原体はヒトパルボウイルスB19で，感染期間はかぜ様症状が出現した時で，発しんが出現した時にはウイルスの排出はなく，他への感染力はない。

(4)　病原体は主にA群溶血性レンサ球菌で，適切な抗菌薬療法にて24時間以内に感染力は消失する。

(5)　咳，発熱，頭痛などのかぜ症状がゆっくりと進行し，特に咳は徐々に激しくなる。しつこい咳が3～4週間持続する場合もあり，学童期以降の細菌性肺炎としては最も多い。

(6)　病原体は，アデノウイルスで，発熱，結膜炎，咽頭炎を主症状とし，ウイルス排出は初期数日が最も多いが，その後，便からは数か月排出が続くこともある。

≪語群≫

ア　A型肝炎	イ　マイコプラズマ感染症	ウ　ヘルパンギーナ	エ　溶連菌感染症
オ　咽頭結膜熱	カ　急性出血性結膜炎	キ　伝染性紅斑	ク　RSウイルス感染症

問2　次の文章は，生徒Bと養護教諭の会話文である。文章中の①～⑧にあてはまる適切な語句や数字を，［A］にあてはまる出席停止期間の基準をそれぞれ答えよ。

生徒B　：　先生，昨日のニュースで，MRワクチンについて放送されていましたが，難しくて，よく分からなかったので，教えてください。

養護教諭　：　どんなことが分からなかったの？

生徒B　：　MRワクチンは，（　①　）と（　②　）の混合ワクチンと説明をしていたけど，（　①　）と（　②　）の違いがよく分からなくて。

養護教諭　：　そうだったのね。まず，（　①　）について説明しますね。

（　①　）の症状は，「カタル期」「発しん期」「回復期」があります。カタル期には，眼が充血し，涙や眼脂（めやに）が多くなります。咳や鼻水などの症状と発熱がみられ，口内の頬粘膜に（　③　）という特徴的な白い斑点が見られ，これが診断のポイントになります。熱が一旦下がりかけ，再び高熱が出てきたときに，赤い発しんが生じて「発しん期」になります。発しんは，耳の後ろから顔面にかけて出始め，身体全体に広がります。赤い発しんが消えた後に，褐色の色素沈着が残るのが特徴です。感染力が最も強いのは，（　④　）期です。解熱した後，（　⑤　）日を経過するまでは出席停止になります。（　①　）は（　⑥　）感染する感染症であり，手洗いやマスクでは（　⑥　）感染は予防できないので，1名でも患者が発生したらすぐに対応について検討する必要があります。

次に，（　②　）は，発熱と同時に発しんに気付く疾患で，淡紅色の発しんが全身に出現し，3日～5日で消えて治ることが多いです。リンパ節の腫れは頸部，耳の後ろの部分にみられ，圧痛を伴います。出席停止期間の基準は，「［A］」になります。

また，（　②　）は，妊娠初期の妊婦が（　②　）ウイルスに感染すると胎児にも感染し，出生児の眼，耳，心臓に先天異常を認める（　⑦　）を発症する可能性があります。

生徒B　：　名前は似ているのに，そんなに違いがあるんですね。MRワクチンは，いつ接種するのですか。

養護教諭　：　MRワクチンは，2回の定期接種で，1回目は，（　⑧　）歳時，2回目は，小学校入学前1年間（6歳になる年度）に接種します。

生徒B　：　よく分かりました。ありがとうございました。

答はすべて解答用紙に記入せよ。

問3　次の文章は，感染症にり患した児童の事例である。次の各問に答えよ。

(1)　児童Cは，12月2日にのどの痛みと頭痛の症状があったため，検温したところ36.8℃であった。翌日の12月3日に39.0℃の高熱と全身倦怠感の症状が出現したため，医療機関を受診したところ「インフルエンザ」と診断された。服薬治療を開始したが，高熱が続き，12月7日に解熱した。児童Cは，何月何日から登校できるか答えよ。

(2)　児童Dは，6月8日に右側の耳下腺の腫れと痛みを訴えた。翌日の6月9日に医療機関を受診したところ，「流行性耳下腺炎」と診断された。6月10日に左側の顎下腺が腫れた。6月13日に全身状態が良好になった。児童Dは，何月何日から登校できるか答えよ。

問4　自然感染や予防接種により，免疫を獲得している人の体内にふたたびウイルスが侵入しても発症せずに済むだけでなく，免疫が増強されることを何というか答えよ。

5　次の各問に答えよ。

問1　下の表1は，主な性感染症についてまとめたものである。「潜伏期間」①～④を語群Aのア～カから，「主な症状など」⑤～⑧を語群Bのキ～コから選び，記号で答えよ。

表1

病　　名	潜伏期間	主な症状など
エイズ	①	⑤
梅毒	②	⑥
性器クラミジア感染症	③	⑦
性器ヘルペスウイルス感染症	④	⑧

≪語群A≫

ア　2～9日　　イ　2～21日　　ウ　2～3週　　エ　3～6週

オ　半年～8年　　カ　数年～数十年

≪語群B≫

キ　外陰部の不快感，そう痒感などの前駆症状ののち，発熱，全身倦怠感，所属リンパ節の腫脹，強い疼痛等を伴って，多発性の浅い潰瘍や小水疱が急激に出現する。

ク　病期に応じて異なる症状を呈し，全身に多彩な症状をきたす可能性がある一方，無症候にもなりうる。治療に有効な抗菌薬があり，適切な抗菌薬治療により母子感染を防ぐことができる。

ケ　適切な治療が施されないと，重篤な全身性免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす。

コ　男性では尿道炎が最も多い。女性では子宮頸管炎などを起こすが，自覚症状の乏しい場合が多い。

問2　次の文章は，思春期における体の変化と性機能の成熟について述べたものである。①～⑦にあてはまる適切な語句を答えよ。

思春期には男女ともに体が急速に発育し，生殖器はほぼ大人に近づく。女性では卵巣から女性ホルモンの（　①　）と（　②　），男性では精巣が発達して男性ホルモンの（　③　）が活発に分泌されるようになる。女性では初めての月経である（　④　）から数年間は卵巣や子宮の発達が十分ではなく，（　⑤　）と月経の周期性は不安定であるが，やがて性周期が安定してくる。性周期は（　⑥　）体温の変化で知ることができる。一方，男性は精巣で（　⑦　）が日々つくられているが，女性に見られるような周期性はない。

答はすべて解答用紙に記入せよ。

問３　次の文章は，月経に関わる健康問題について述べたものである。あてはまる疾患名を漢字で答えよ。

(1)　月経中に子宮に痛みが生じる状態で，日常生活に支障を来すような下腹痛や頭痛があり，子宮内膜症など子宮の疾患が原因で起こることがある。

(2)　月経前，３～10日の間続く精神的あるいは身体的症状で，月経開始とともに軽快ないし消失するものをいう。精神神経症状として情緒不安定や集中力の低下など，自律神経症状として倦怠感やめまいなど，身体的症状として腹痛や頭痛などがある。

問４　令和２年６月の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」において，「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定されたことを踏まえ，子供たちが性暴力の加害者，被害者，傍観者にならないよう，全国の学校において推進されている教育を何というか答えよ。

6　下の表２は，小学６年生児童Ｅの児童生徒健康診断票（歯・口腔）の一部を示したものである。次の各問に答えよ。

表２

年齢	年度	顎関節	歯列・咬合	歯垢の状態	歯肉の状態	歯式	歯の状態 乳歯 現在歯数	乳歯 未処置歯数	乳歯 処置歯数	永久歯 現在歯数	永久歯 未処置歯数	永久歯 処置歯数	永久歯 喪失歯数	その他の疾病及び異常	学校歯科医 所見	学校歯科医 月日	事後措置
11歳	令和5年度	(0) 1 2	0 (1) 2	0 (1) 2	0 1 (2)	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 上 右 E/C D C B A A B C D E/× 左 上 下 E D C B A A B C D E 下 8 7 6✓ 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	CO ⑨	6月4日	要受診

※歯式中の✓は，シーラント処置歯である。

問１　表２の「歯の状態」欄にある①～⑦にあてはまる数字を答えよ。

問２　表２の⑧にあてはまる「その他の疾病及び異常」は何か答えよ。

問３　表２の「所見」欄に記入される記号は，COと⑨である。⑨にあてはまる記号を答えよ。

問４　児童ＥのDMF歯数を答えよ。

問５　児童Ｅの学年で歯科健康診断を受けた児童数は106人，DMF歯の合計数は93本だった。この学年のDMFT指数（歯数）を小数点第１位まで答えよ。その際，小数点第２位は四捨五入すること。

答はすべて解答用紙に記入せよ。

問6　下の図2は，歯の構造図である。図2の①～⑤にあてはまる語句を，下の語群ア～キから選び，記号で答えよ。

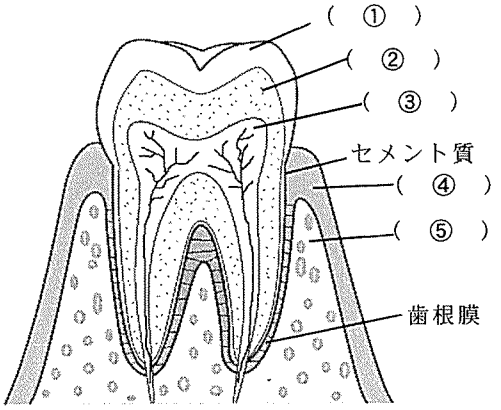


図2

≪語群≫

ア　エナメル質	イ　小窩裂溝	ウ　象牙質	エ　歯肉
オ　歯槽骨	カ　歯根管	キ　歯髄	

問7　歯の外傷の種類には，歯冠破折，歯根破折，脱臼，陥入などがある。このうち，歯の脱臼で，抜けた歯を再植するためには，抜けた歯の取扱いに注意しておおむね30分以内に病院に持参しなければならない。次の(1)～(3)について，適切な方法を簡潔に答えよ。

(1)　脱臼した歯の持ち方
(2)　汚れが付着していた場合の対応
(3)　脱臼した歯の保存の方法

問8　次の文は，「スポーツ事故防止ハンドブック（令和2年12月 独立行政法人日本スポーツ振興センター）」に示されている，歯と口のけがを防ぐための10か条である。①～⑤にあてはまる語句を，下の語群ア～コから選び，記号で答えよ。

〈日頃からの管理と指導〉
1　朝，授業や活動の途中・前後に，（　①　）をする。
2　食事，運動，休養・睡眠の調和の取れた生活と敏捷性や調整能力等の基礎的な体力作りに努める。
3　施設・設備や用具，教室や運動場等の（　②　）を行い，環境を安全に整える。
4　活動場所や内容，運動種目等に応じた（　③　）をする。
5　危険な行動を見つけたら，改善のための指導をする。
6　安全な活動や用具等の使用に関するルールを決め，お互いに守るようにさせる。
〈危険を予測・回避するために〉
7　事故の事例や「ひやり・はっと」した場面等を題材に，危険予測・回避の学習をする。
8　体の接触，ボールやバット・ラケット等に当たることが多い運動では，（　④　）の着用も検討する。
〈けがをしてしまったら〉
9　けがをしたところを（　⑤　）にし，応急手当をする。
10　抜けた（欠けた）歯を拾って，速やかに歯科医を受診する。

≪語群≫

ア　清潔	イ　点呼	ウ　安全点検	エ　健康観察	オ　環境点検
カ　換気	キ　安静	ク　レガース	ケ　安全対策	コ　マウスガード

1	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
2	問1	(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	
		(5)	
	問2	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
		⑥	
		⑦	
		⑧	
		⑨	
		⑩	
		⑪	
		⑫	

3	問1	①			
		②			
		③			
		④			
	問2				
	問3				
	問4				
4	問1	(1)		(2)	
		(3)		(4)	
		(5)		(6)	
	問2	①			
		②			
		③			
		④			
		⑤			
		⑥			
		⑦			
		⑧			
		A			
	問3	(1)	月　　日		
		(2)	月　　日		
	問4				

受験番号	

5	問1	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
		⑥	
		⑦	
		⑧	
	問2	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
		⑥	
		⑦	
	問3	(1)	
		(2)	
	問4		
6	問1	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
		⑥	
		⑦	

6	問2		
	問3		
	問4		本
	問5		本
	問6	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
	問7	(1)	
		(2)	
		(3)	
	問8	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	

受験番号	

1	①	イ	2		
	②	ア	2		
	③	イ	2		
	④	ウ	2		
	⑤	イ	2		
	⑥	ウ	2		
	⑦	イ	2		
	⑧	ウ	2		
	⑨	ア	2		
	⑩	ア	2		20
2	問1	(1)	○	2	
		(2)	○	2	
		(3)	×	2	
		(4)	×	2	
		(5)	○	2	
	問2	①	21	2	
		②	予防処置	2	
		③	医療	2	
		④	検査	2	
		⑤	療養	2	
		⑥	編入	2	
		⑦	運動	2	
		⑧	軽減	2	
		⑨	制限	2	
		⑩	座席	2	
		⑪	発育	2	
		⑫	保健指導	2	34

3	問1	①	末節骨	2	
		②	中節骨	2	
		③	基節骨	2	
		④	中手骨	2	
	問2	イ		2	
	問3	血管迷走神経反射（迷走神経反射）		2	
	問4	1　負傷した際の状況を伝える。 2　負傷の程度と受診の必要性を伝える。 3　生徒Aの現在の様子を伝える。 4　かかりつけ医療機関の有無を確認する。 5　スポーツ振興センター災害共済給付制度手続きについて説明する。 6　保護者の到着予定時刻を確認する。 7　生徒Aの待機場所や車の乗り入れ場所を伝える。 など，三つ解答する。		3 3 3	21
4	問1	(1)	ウ	2	(2)	ク	2
		(3)	キ	2	(4)	エ	2
		(5)	イ	2	(6)	オ	2
	問2	①	麻しん				2
		②	風しん				2
		③	コプリック斑				2
		④	カタル				2
		⑤	3				2
		⑥	空気（飛沫核）				2
		⑦	先天性風しん症候群				2
		⑧	1				2
		A	発しんが消失するまで				2
	問3	(1)	12月10日				2
		(2)	6月14日				2
	問4	ブースター効果（追加免疫効果）					3

37

5	問1	①	オ	2
		②	エ	2
		③	ウ	2
		④	イ	2
		⑤	ケ	2
		⑥	ク	2
		⑦	コ	2
		⑧	キ	2
	問2	①	エストロゲン（卵胞ホルモン） （①②順不同）	2
		②	プロゲステロン（黄体ホルモン） （①②順不同）	2
		③	アンドロゲン（精巣ホルモン，テストステロン）	2
		④	初経（初潮）	2
		⑤	排卵	2
		⑥	基礎	2
		⑦	精子	2
	問3	(1)	月経困難症	2
		(2)	月経前症候群	2
	問4	生命（いのち）の安全教育		3
6	問1	①	2	2
		②	1	2
		③	0	2
		④	24	2
		⑤	0	2
		⑥	1	2
		⑦	0	2

37

6	問2	要注意乳歯（有）		2
	問3	G		2
	問4	1　　本		2
	問5	0.9　　本		2
	問6	①	ア	2
		②	ウ	2
		③	キ	2
		④	エ	2
		⑤	オ	2
	問7	(1)	歯冠部を持つ。 歯根部を持たない。　　等	3
		(2)	歯根膜を傷つけない程度に軽く洗う。 洗いすぎない。 こすり洗わない。　　等	3
		(3)	市販の保存液や牛乳に浸す。 （生理食塩水や口の中に入れるも可）　　等	3
	問8	①	エ	2
		②	ウ	2
		③	ケ	2
		④	コ	2
		⑤	ア	2

51